

2024年6月10日
株式会社モスフードサービス

2023年度「当社取締役会の実効性の分析・評価」結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め企業価値を向上させることを目的として、取締役会の実効性に関する分析・評価を行いましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

1. 評価の方法

2023年度は、以下の事項に関するアンケートをすべての取締役（9名）・監査役（4名）に実施致しました。また、当年度アンケートは2022年度の内容に加えて、前回課題への取り組みを通じたPDCAサイクルの構築状況を確認するため、アンケート項目に「前回課題を踏まえた改善への取り組み」を追加いたしました。

なお、当年度の評価を実施するにあたっては、透明性を確保し当社コーポレートガバナンス体制を客観的に把握するため、アンケート設計・回答集計・とりまとめについて外部のコンサルタントを活用し、集計結果に基づく分析・評価結果を取締役会で報告の上、今後の取り組みについて議論いたしました。

[アンケートの項目]

- （1）取締役会の構成と運営
- （2）経営戦略と事業戦略
- （3）企業倫理とリスク管理
- （4）経営陣の評価と報酬
- （5）株主等との対話
- （6）前回課題を踏まえた改善への取り組み

2. 分析・評価結果の概要

アンケートの各項目について肯定的な回答が大部分を占め、特に社外取締役の機能発揮、内部統制システムに対する運用状況の監督等に関しては、高い評価が確認されました。また、前回課題認識に対する取り組みについても改善を評価する意見が複数確認され、現状のコーポレートガバナンス体制を踏まえた当社取締役会の実効性は確保・向上しているものと評価されました。

その一方で、前年課題認識に対する更なる取り組みの強化を含め、経営監督の強化、戦略議論の拡充、後継者計画に対する監督の強化等について、一定の課題認識を有する事項も確認されました。

3. 前回課題を踏まえた改善への取り組み

2022年度はグループガバナンスの高度化、事業ポートフォリオマネジメントの推進、人材戦略の在り方の検討に関して優先的に取り組む事項として課題認識し、当年度はその取り組み状

況について確認を行いました。

その結果、肯定的な評価が多数を占め、改善を評価する意見が複数確認されました。一方で、更なる改善を期待するコメントや改善途上であるとのコメントも複数示されたことから、経営監督の強化、戦略議論の拡充の観点において継続的に取り組んでまいります。

4. 当年度認識した主な課題と今後の対応

当社取締役会は、当年度分析・評価の結果から抽出された以下の課題認識について、取り組みを行うことで更なるコーポレートガバナンスの向上を図ります。

① 経営監督の更なる強化

執行側の会議体での討議内容や論点に関する取締役会への報告を高度化し、重要議案については執行側の意見申述を促すことによって、取締役会での議論を更に活性化し、経営監督の強化を図る

② 戦略議論の拡充

前回課題と認識した事業ポートフォリオマネジメントや人材戦略も踏まえ、当社戦略に関する議題について、取締役会での更なる審議の充実を図るために、必要に応じて別途、審議時間の確保に努める

③ 後継者計画に対する監督

社長を含む当社経営人材の後継者計画について、任意の諮問機関である独立役員会と、審議の主体である取締役会との連携を拡充しつつ、監督を強化する

上記の通り、取締役会の実効性についての本質的な議論を踏まえつつ、抽出された強みとともに、今後とも課題の改善に向けて継続的に取り組んでいくことで取締役会の実効性をさらに高めていくことといたしました。

以 上